

# 令和2年度 第1回 柏市通学区域等審議会

## 【審議事項】

(仮称) 柏北部東地区新設小学校整備に伴う通学区域について

令和2年7月8日(水) @沼南庁舎大会議室

# 1 柏市の児童生徒の現況

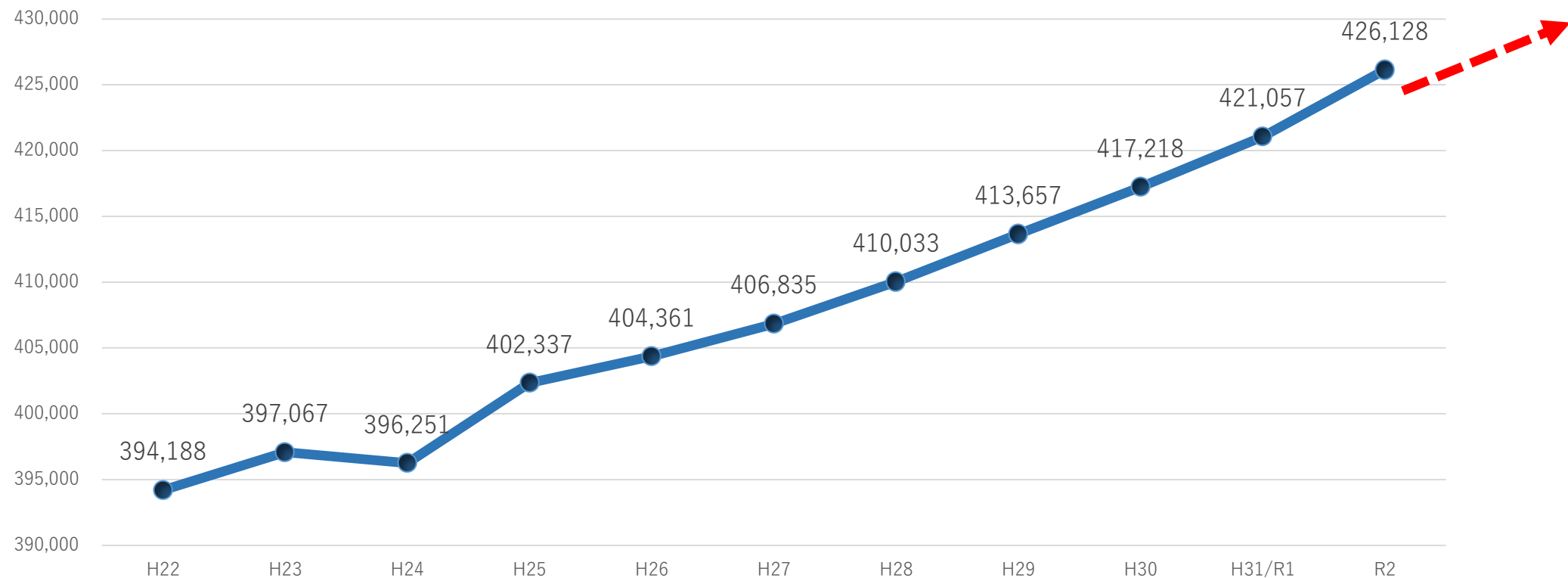
# 柏市の人口の推移

各年4月1日現在

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2
市内人口	394,188	397,067	396,251	402,337	404,361	406,835	410,033	413,657	417,218	421,057	426,128

※住民基本台帳人口

➤ 柏市の**人口は増加**が続いている状況。今後もその傾向は一定の期間続く見込み

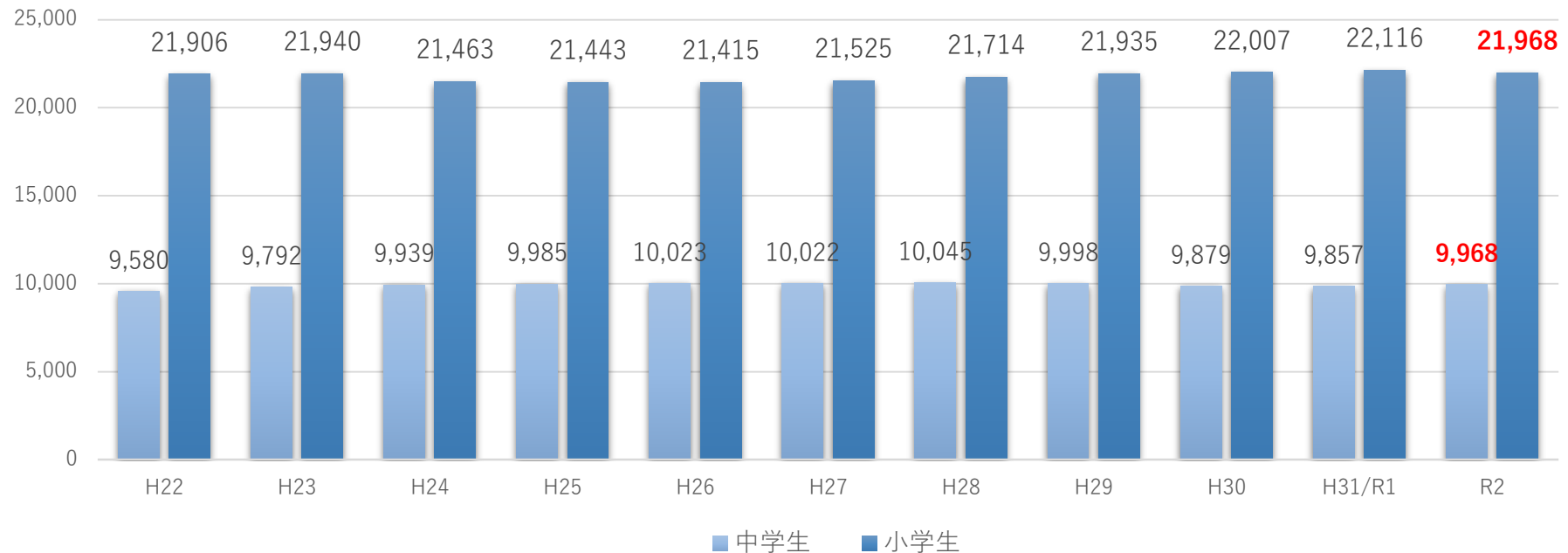


# 柏市の児童生徒の推移

- 全国的には少子高齢化が進行
- 本市では、小学校の児童数は平成14年度を下限として**増加傾向**  
中学校の生徒数は平成17年度を下限として**増加傾向**

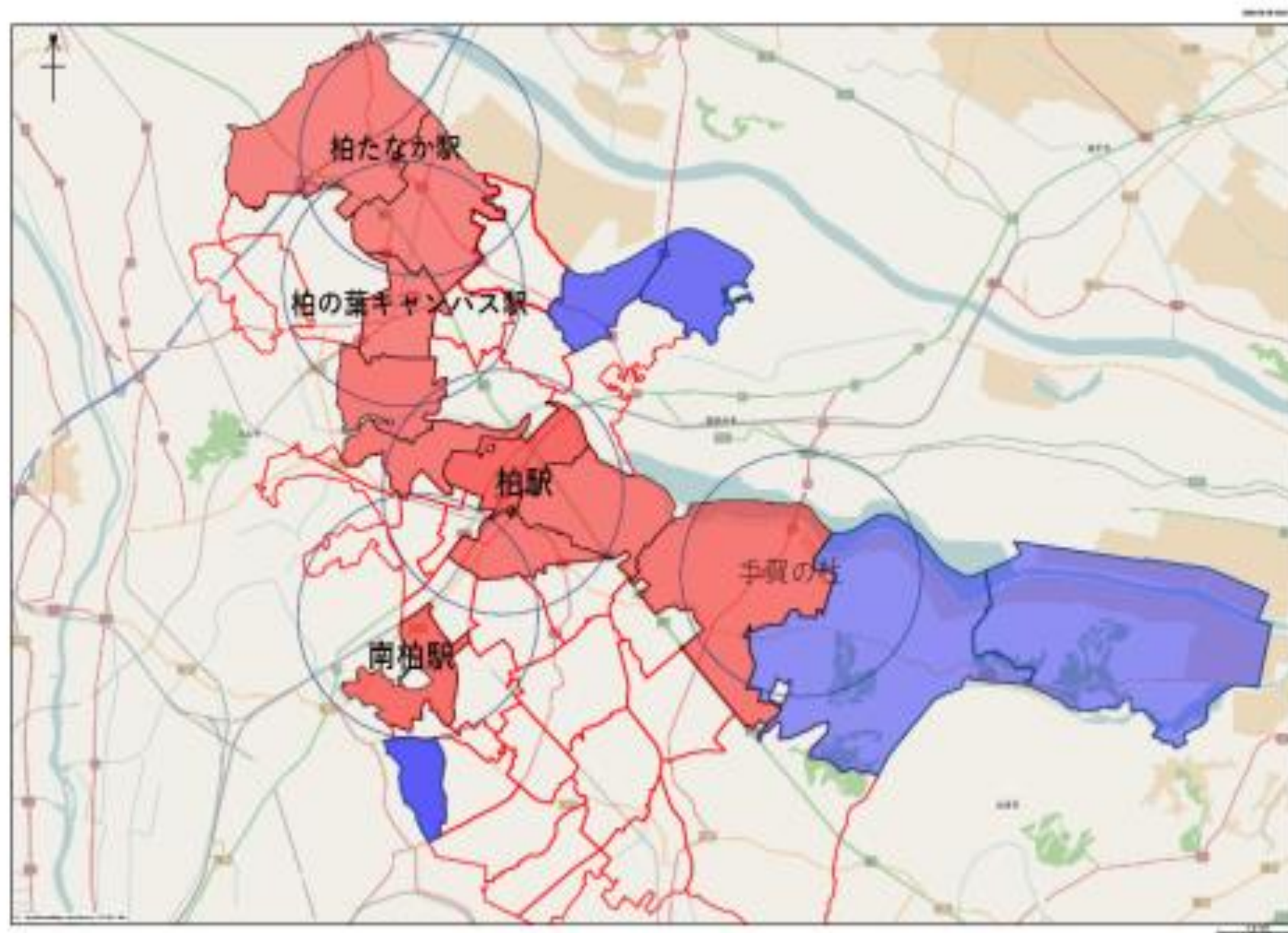
単位：人

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2
小学生	21,906	21,940	21,463	21,443	21,415	21,525	21,714	21,935	22,007	22,116	<b>21,968</b>
中学生	9,580	9,792	9,939	9,985	10,023	10,022	10,045	9,998	9,879	9,857	<b>9,968</b>



# 柏市 小学校通学区域マップ

赤:大規模(増加傾向)の小学校  
青:小規模の学校



# 児童数 地区別状況

## 大規模(増加傾向)の小学校

- (1) 柏駅周辺  
(柏第一小, 柏第三小, 柏第五小, 柏第六小, 柏第七小)
- (2) 南柏駅周辺  
(光ヶ丘小学校)
- (3) 柏の葉キャンパス駅周辺  
(柏の葉小学校)
- (4) 柏たなか駅周辺  
(田中小学校, 田中北小学校)**
- (5) 手賀の杜地区  
(風早北部小学校)

## 小規模の小学校

- (1) 手賀地域  
(手賀西小学校, 手賀東小学校)
- (2) 富勢地域  
(富勢西小学校, 富勢東小学校)
- (3) 酒井根地域  
(酒井根西小学校)

- 駅前の再開発や区画整理事業に伴う中高層マンションの建設及び宅地開発により児童数が増加
- 児童の増減により大規模校, 小規模校の二極化が進んでいる

## 教室不足への対応

- ◆ 特別教室を普通教室へ転用, 仮設校舎や増築校舎の建設
- ◆ 学区外就学希望者の受入れの制限
- ◆ 通学区域の一部変更
- ◆ **学校の新規整備 (通学区域の再編)**

## 2 柏北部東地区の概況

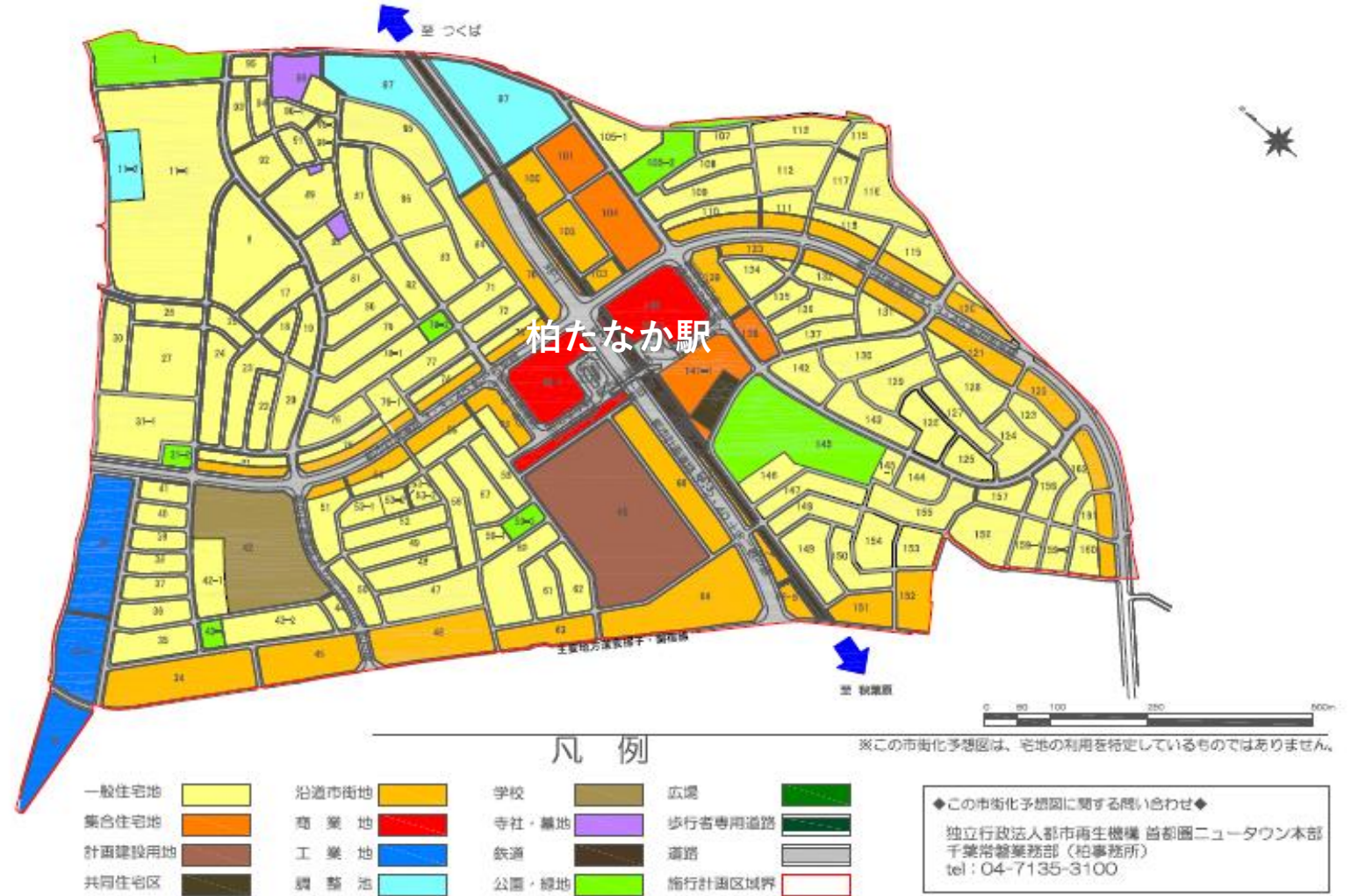


# 柏北部東地区 土地区画整理事業

柏北部東地区土地区画整理事業区域 土地利用計画図

## 柏北部東地区 土地区画整理事業

- ・平成17年8月24日につくばエクスプレスが開通し柏たなか駅が誕生
- ・区域：船戸1～3丁目  
小青田1～5丁目  
大室1～3丁目
- ・計画人口：約12,800人
- ・施行面積：約128ha





# つくばエクスプレス 柏たなか駅周辺 (空撮)

平成17年 (TX開業当時)



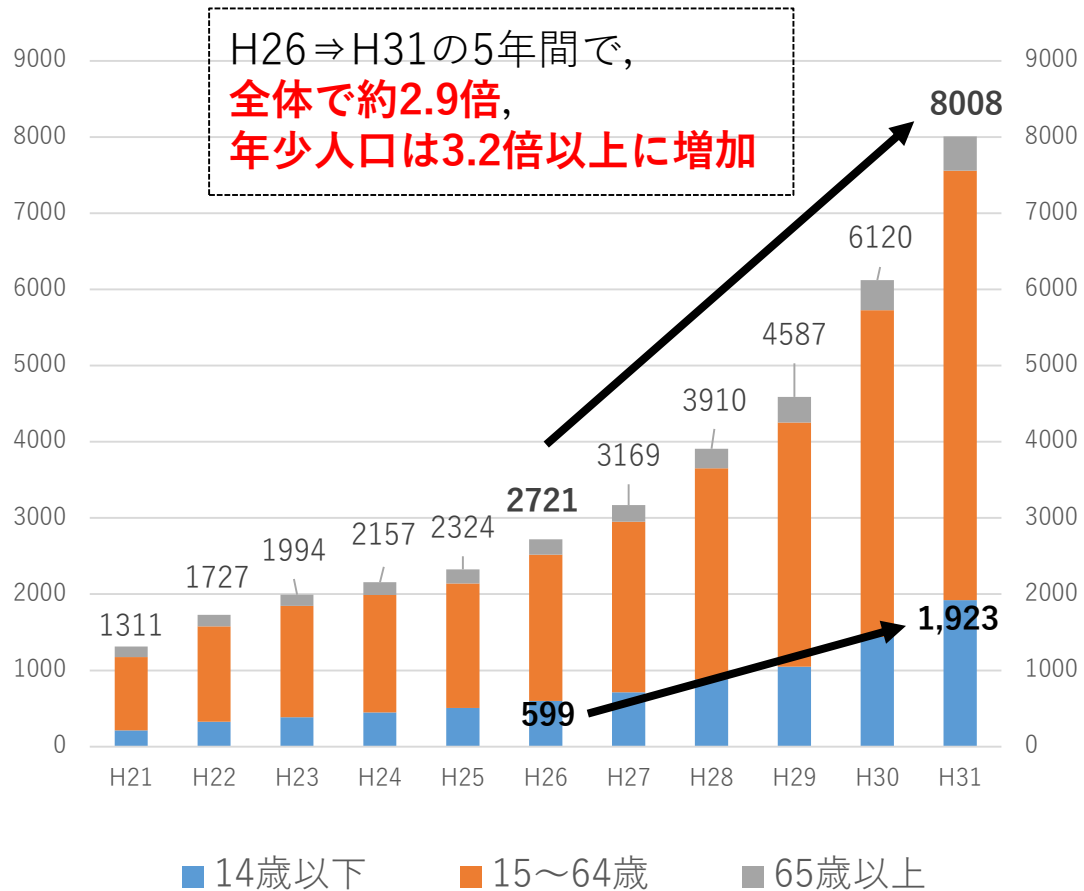
平成30年



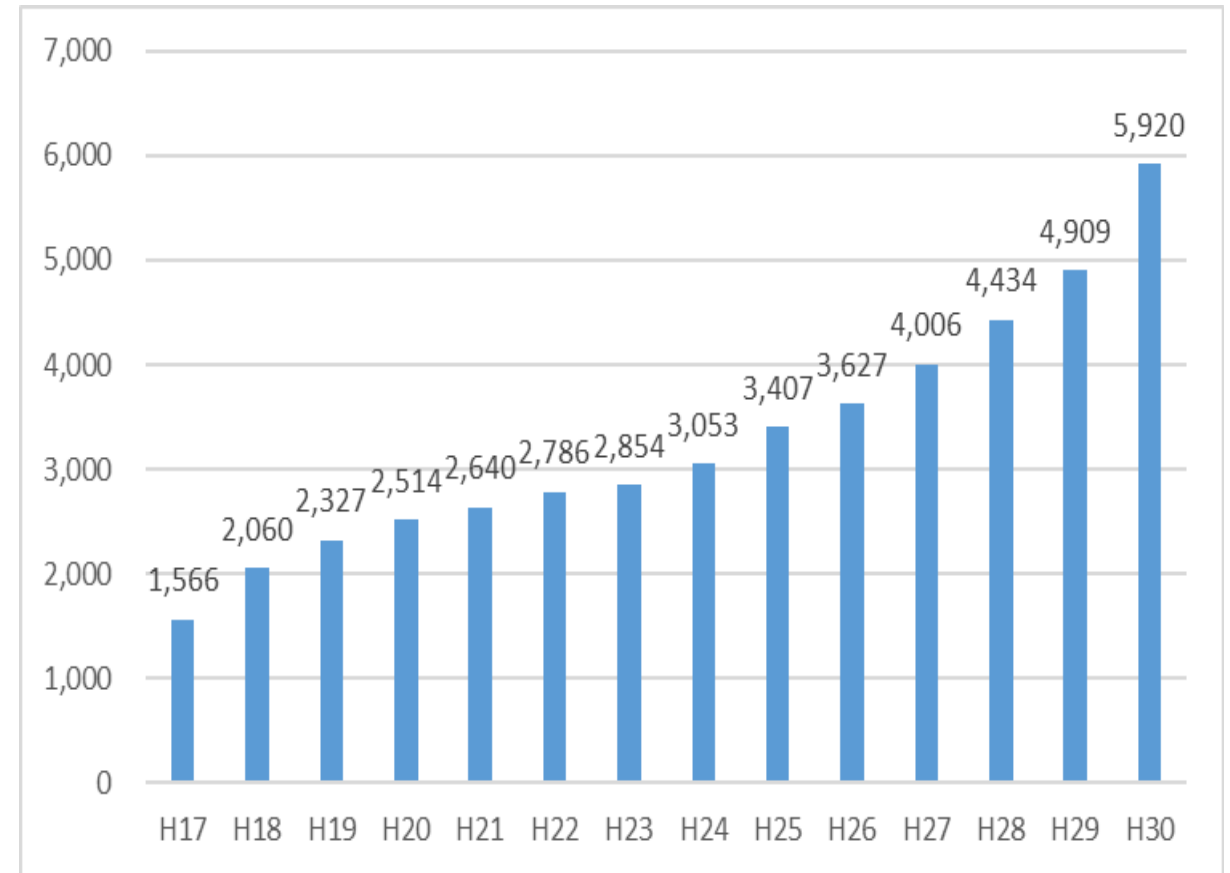
# 柏北部東地区 人口等推移

## 人口推移

※14歳以下（学齡）の人数が増加傾向

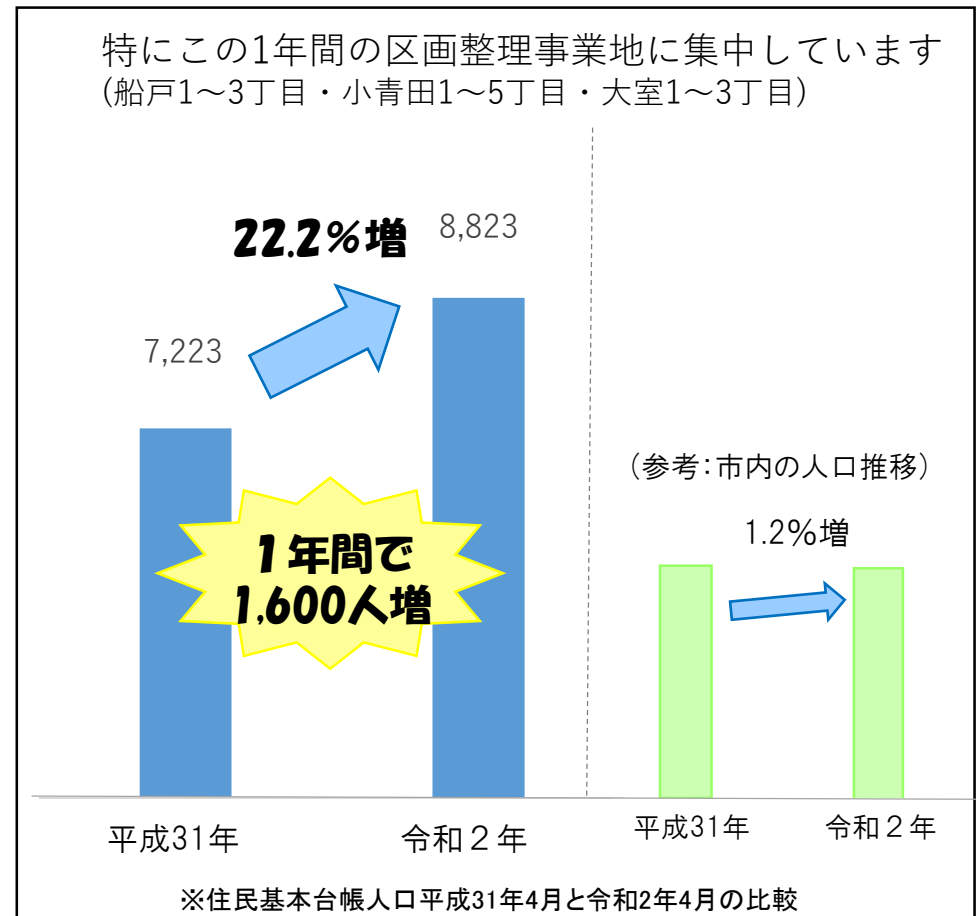
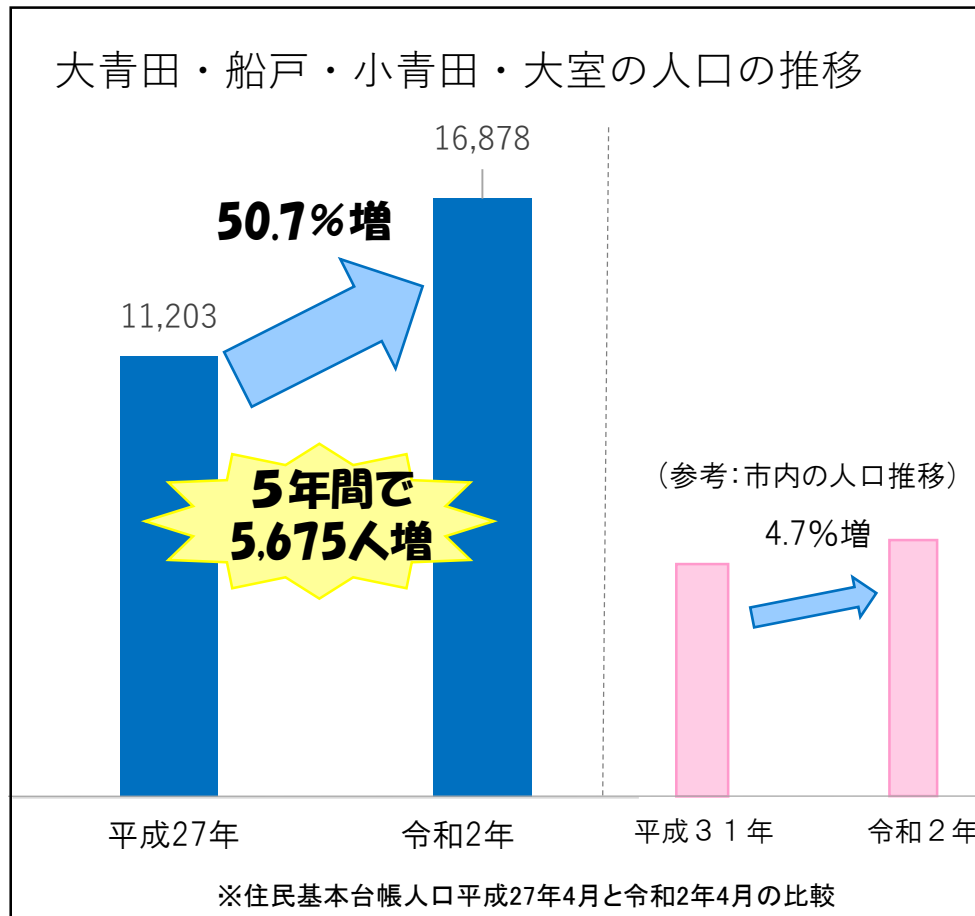


## 柏たなか駅 1日平均乗車人員推移



# 大青田，船戸，小青田，大室における人口の推移

北部東地区の区画整理事業の進捗により，**人口が急激に増加**しています。

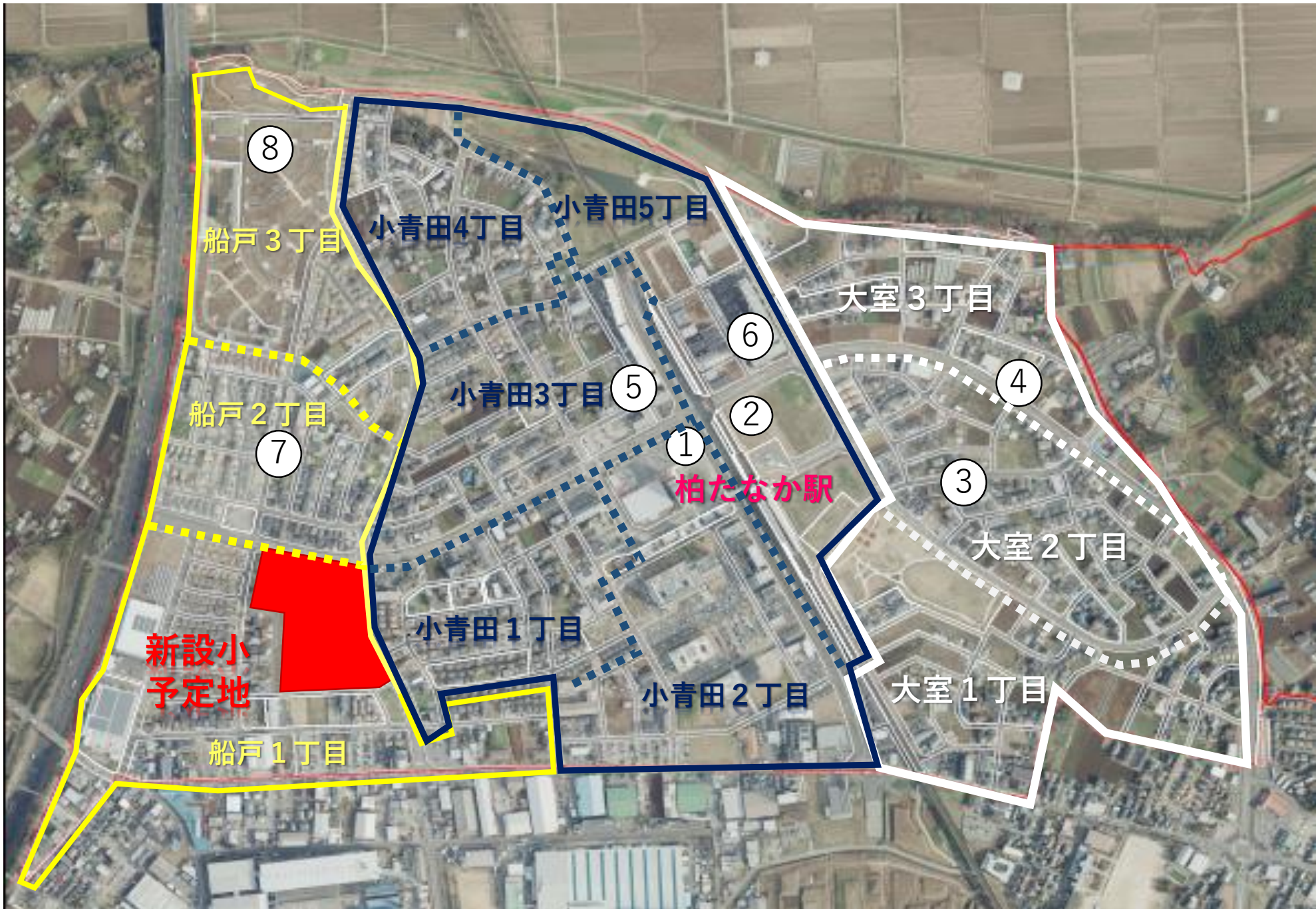




H31

柏北部東地区

航空写真





# TX柏たなか駅

① 柏たなか駅西口



② 柏たなか駅東口



# 大室 1～3丁目

- 柏たなか駅東側に位置
- 戸建住宅が多い
- 大室1～3丁目にはまだ空き地が多く今後、さらに住宅が増加する見込み

## ③ 大室 2丁目



## ④ 大室 3丁目 船戸若柴線





# 小青田 1～5丁目

- 柏たなか駅に近接のエリア
- 大規模なマンション，柏たなか病院，スーパーカスミ等が立地
- 小青田は多くの土地が利用され，空き地は少ない

## ⑤ 小青田 3丁目



## ⑥ 小青田 5丁目





# 船戸 1～3丁目

- 柏たなか駅西側に位置
- 新設の小学校は船戸1丁目に整備予定
- 戸建住宅が多い
- 船戸1,2丁目はすでに土地利用済み。3丁目は多くの住宅が建設中

## ⑦ 船戸 2丁目



## ⑧ 船戸 3丁目



1号公園

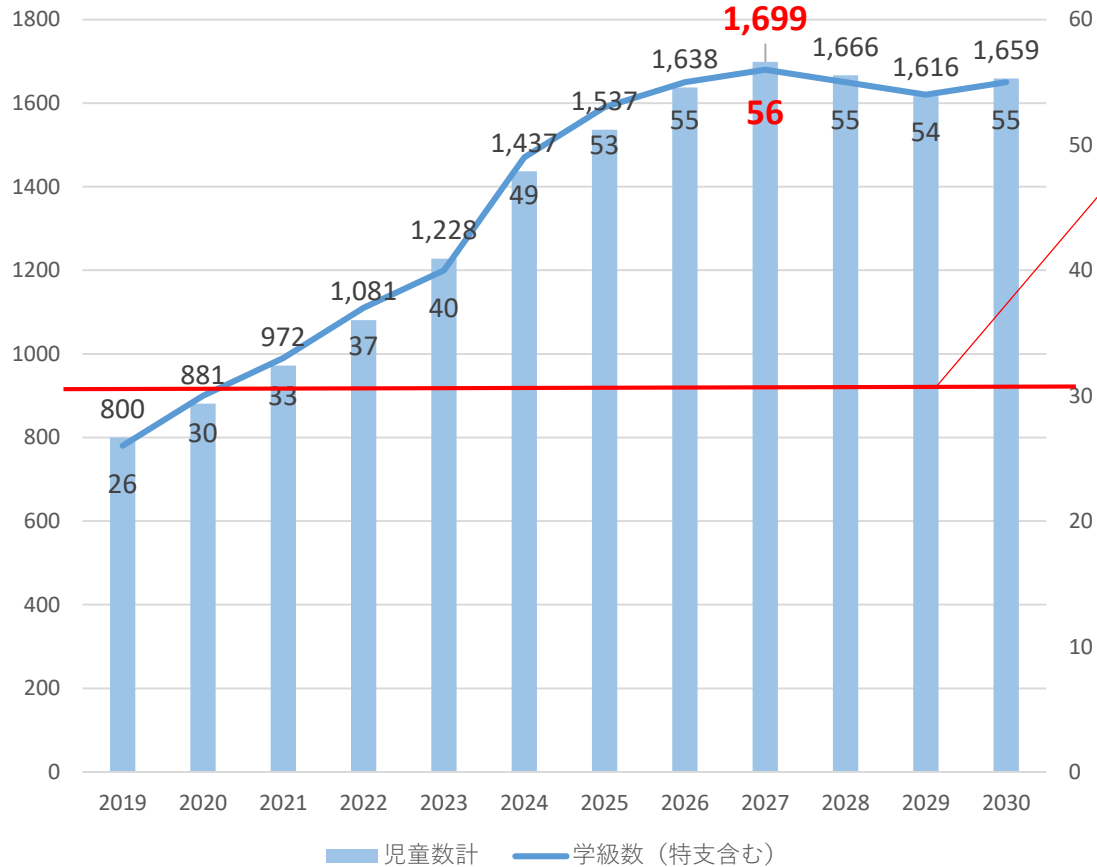


# 3 児童数増加の状況

# 田中小学校・田中北小学校における今後の児童数・学級数推移(2020更新)

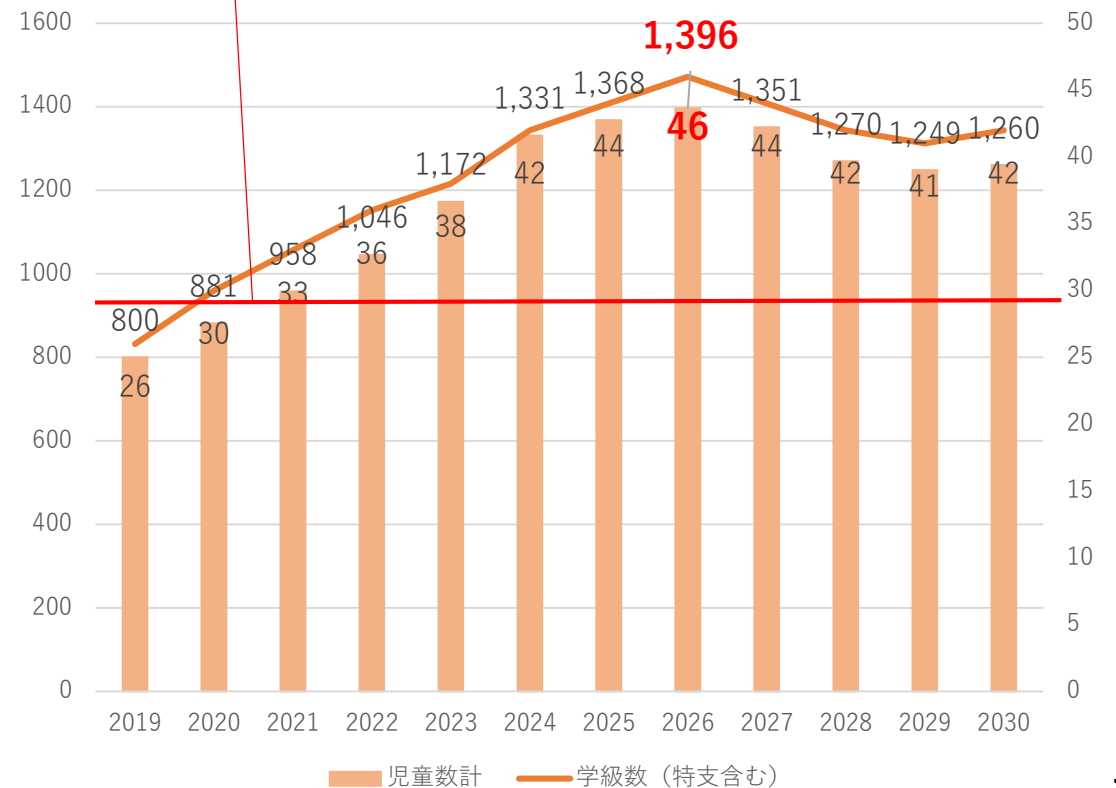
## 田中小学校

【高位】の場合



【低位】の場合

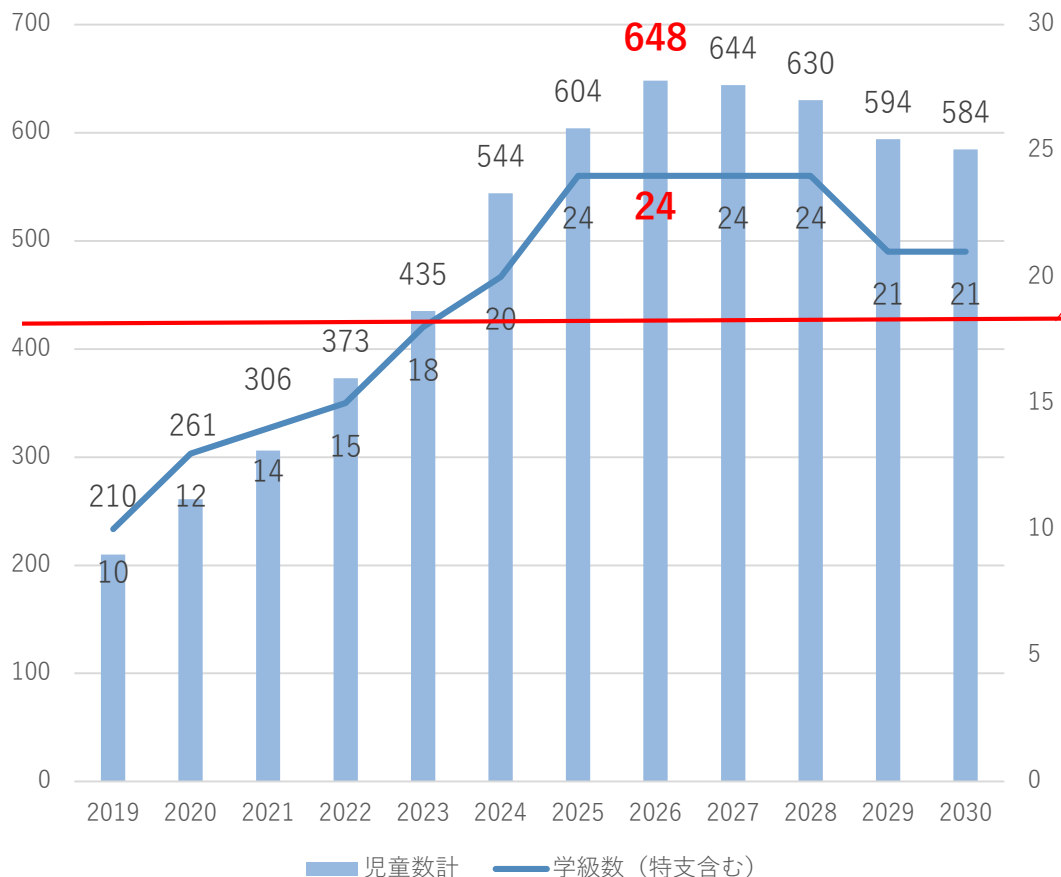
現保有教室数 31教室(建替前)



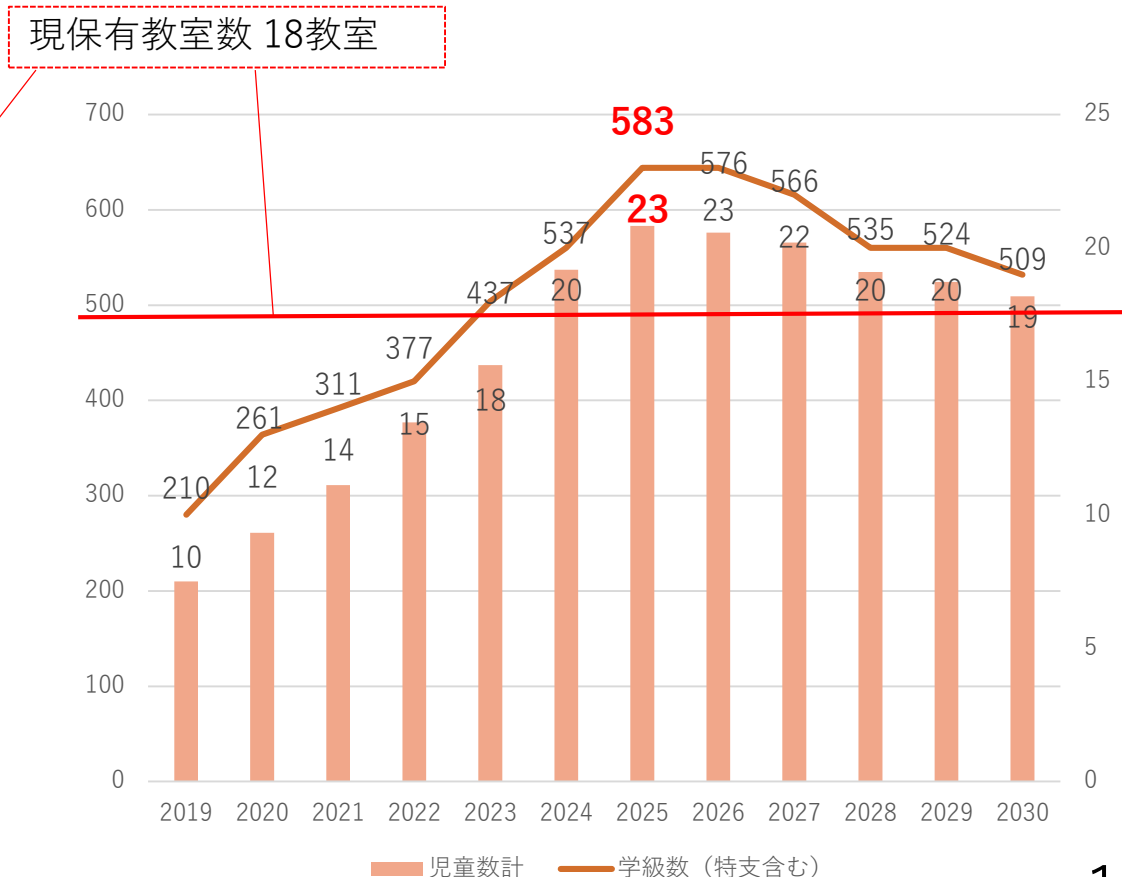
# 田中小学校・田中北小学校における今後の児童数・学級数推移(2020更新)

## 田中北小学校

【高位】の場合



【低位】の場合



現保有教室数 18教室

# 新設小学校 開校までの方針

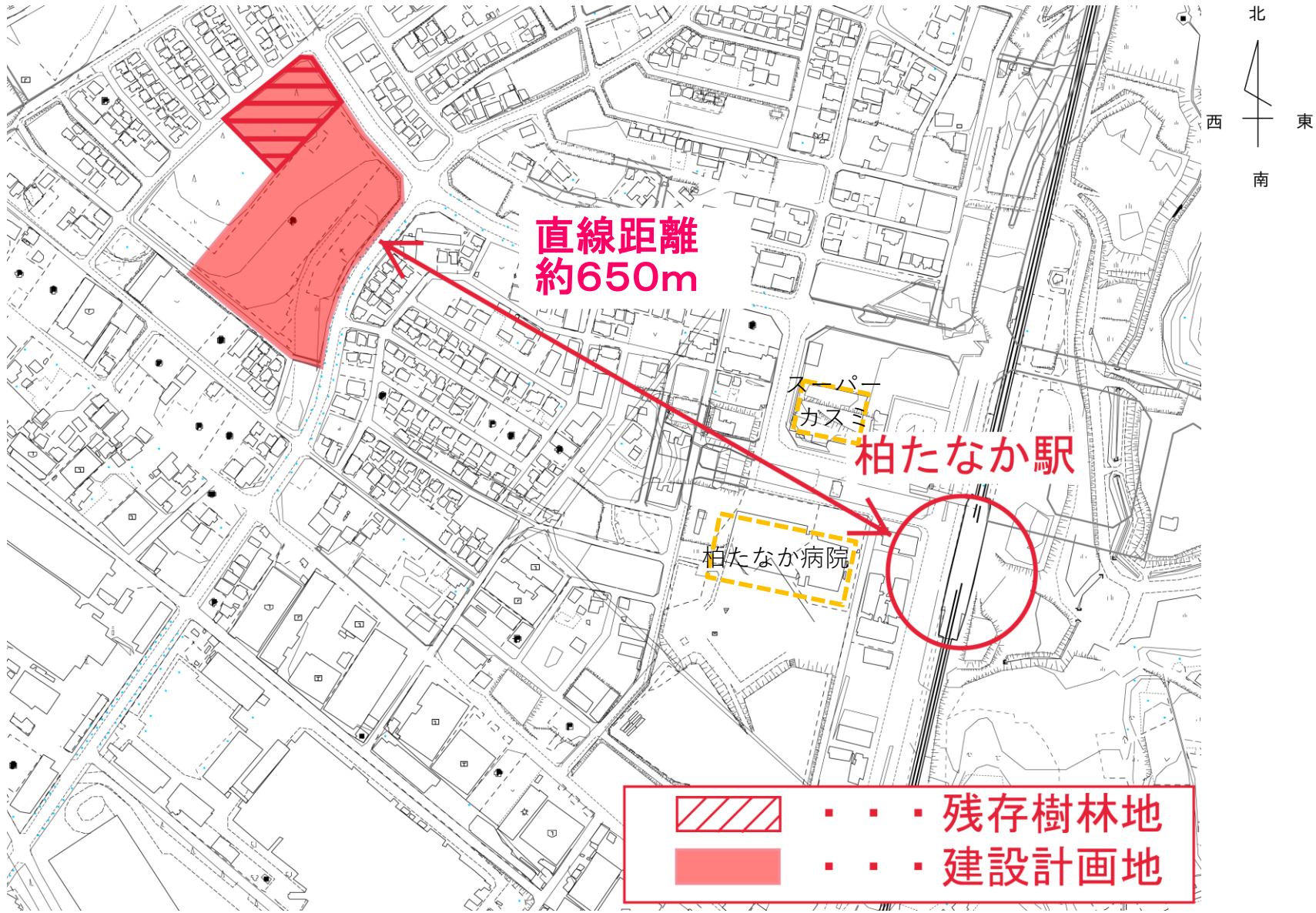
---

- 両校の児童数の増加に伴う大幅な教室不足に対応するため、**2023年4月開校**を目指し、学校用地に新しい小学校を整備する
- 新設小学校の通学区域は、**地域の皆様と協議を行い作成した再編案**を、通学区域等審議会へ諮問，答申を経て教育委員会で決定



# 新設小学校建設予定地

(柏市船戸1丁目7番)







公園

保存樹林

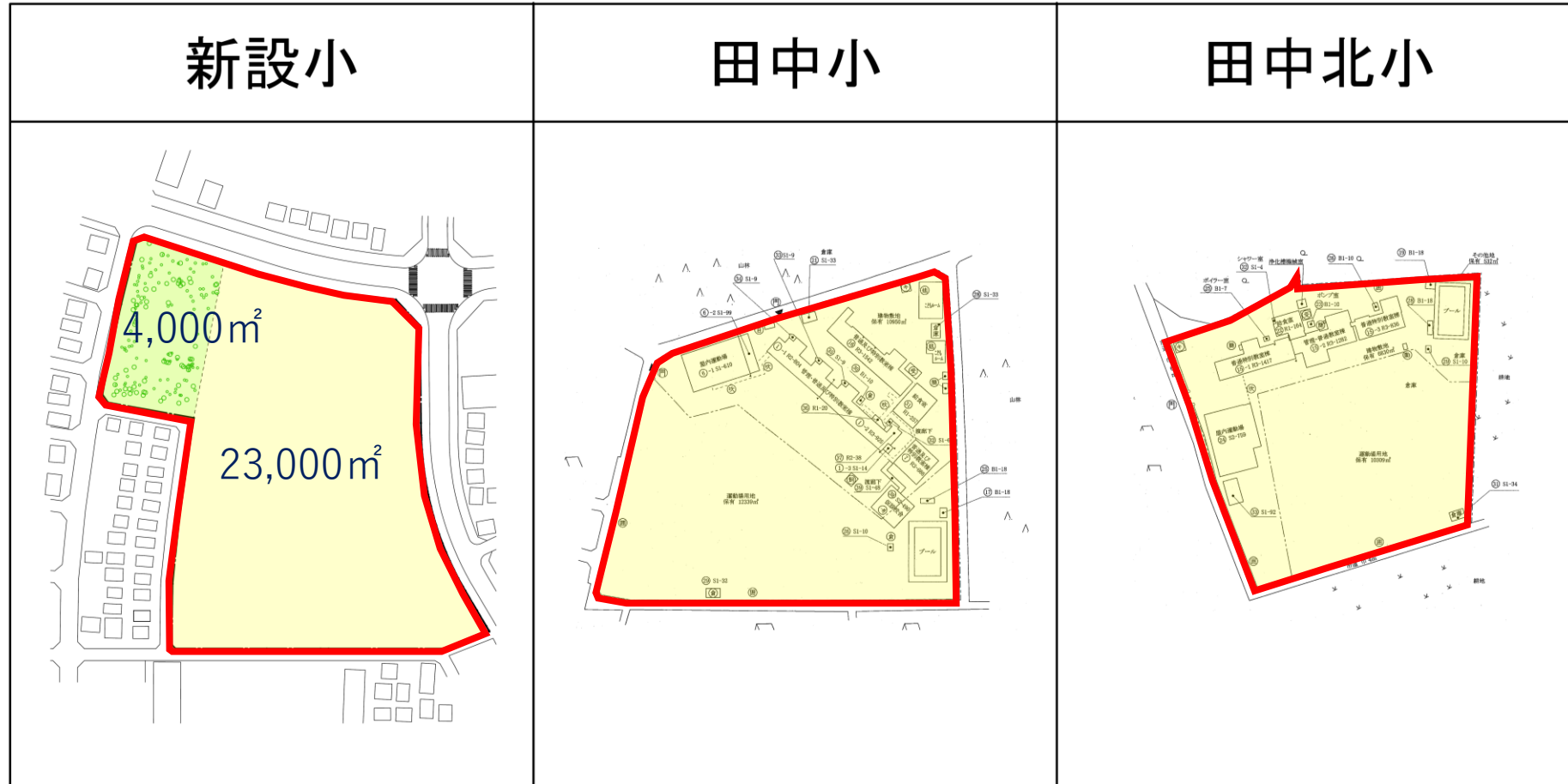
約2.7ha

公園





# 敷地面積の比較



約27,000m<sup>2</sup>  
(保存樹林含む)

約23,000m<sup>2</sup>

約18,000m<sup>2</sup>

# 4 通學區域再編案

# 地域の方々・学校PTAの方々からの意見

## 1 巡目

### ◆ 説明期間

令和元年6月～8月まで

### ◆ 説明の相手方

- ① 関係8町会・自治会の町会長等役員
- ② 田中小・田中北小のPTA会長等役員，校長，教頭

合計10回の説明会に144名が参加

### ◆ 説明の概要

- 北部東地区での児童数の増加見込みを踏まえ，令和5年4月に新設小学校を開校します
- 通学区域は地域や学校PTAの方々と協議し再編案を作成し決定します

## 2 巡目

### ◆ 説明期間

令和元年12月～令和2年6月まで

### ◆ 説明の相手方

- ① 関係8町会・自治会の町会長等役員を含めた住民
- ② 田中小・田中北小のPTA会長等役員，校長，教頭

合計14回の説明会に344名が参加

### ◆ 説明の概要

- 地域住民から「田中北小を新設小へ移転」「遠距離通学対策」「地域コミュニティの維持」等の要望あり
- 2校体制(田中小・新設小)とし，新設小は「田中北小からの移転」とします
- 小青田は新設小学区へ変更します。大室は田中 elementary 小学区のままとします

# 各説明会での主な意見 (8町会・自治会, 田中小・田中北小)

町会・PTA ( )は世帯数 (R2.5月時点)	要望・意見	① 田中北小を 新設小へ移転	② 遠距離 通学対策	③ 地域コミュニ ティの維持	④ 田中北小 跡地活用	⑤ 通学路の 安全対策
1 大青田町会 (192世帯)		○	○	○	○	○
2 大室町会 (876世帯)				○	○	○
3 小青田町会 (311世帯)		○	○	○	○	○
4 船戸町会 (540世帯)		○	○	○	○	○
5 山高野町会 (77世帯)		○	○	○	○	○
6 ラカンパーニャ自治会 (60世帯)				○		○
7 ラプリマチッタ自治会 (71世帯)					○	○
8 レクセルたなか自治会 (29世帯)						
9 田中小PTA						
10 田中北小PTA		○	○		○	○

# 学区再編のポイント【1】

## 2校体制（田中小・新設小）とし、新設小は「田中北小からの移転」へ

### ① 学校の適正規模

- \* 3校体制の場合、通学区域をどのように設定しても田中北小が長期的に小規模校となる。

### ② 地域住民・保護者の意見

- \* 保護者や地域住民からは、児童の良好な教育環境を考え、児童数が減少する田中北小を新設小へ「移転」し、田中北小の校名、校歌等をそのまま新設小へ引き継ぐことが望まれている。

### ③ 費用面

- \* 田中北小を残す場合、田中北小老朽化に伴う改築費及び毎年度発生する維持管理費がかさむ。  
⇒ 差額約12億円

田中北小児童住所地（R2.5.1時点）

学年	住所地（大字）						
	船戸	船戸1丁目	船戸2丁目	船戸3丁目	船戸山高野	大青田	その他学区外
1年生	4	15	21	16	2	6	2
2年生	8	13	10	7	1	2	2
3年生	7	19	11	10	1	3	1
4年生	3	11	7	5	1	5	0
5年生	4	17	5	2	2	9	0
6年生	7	11	4	0	2	4	1
大字別小計	33	86	58	40	9	29	6
総計				261			

区画整理区域の児童が **7割以上** を占める  
(※区画整理区域以外の児童数：計77人)

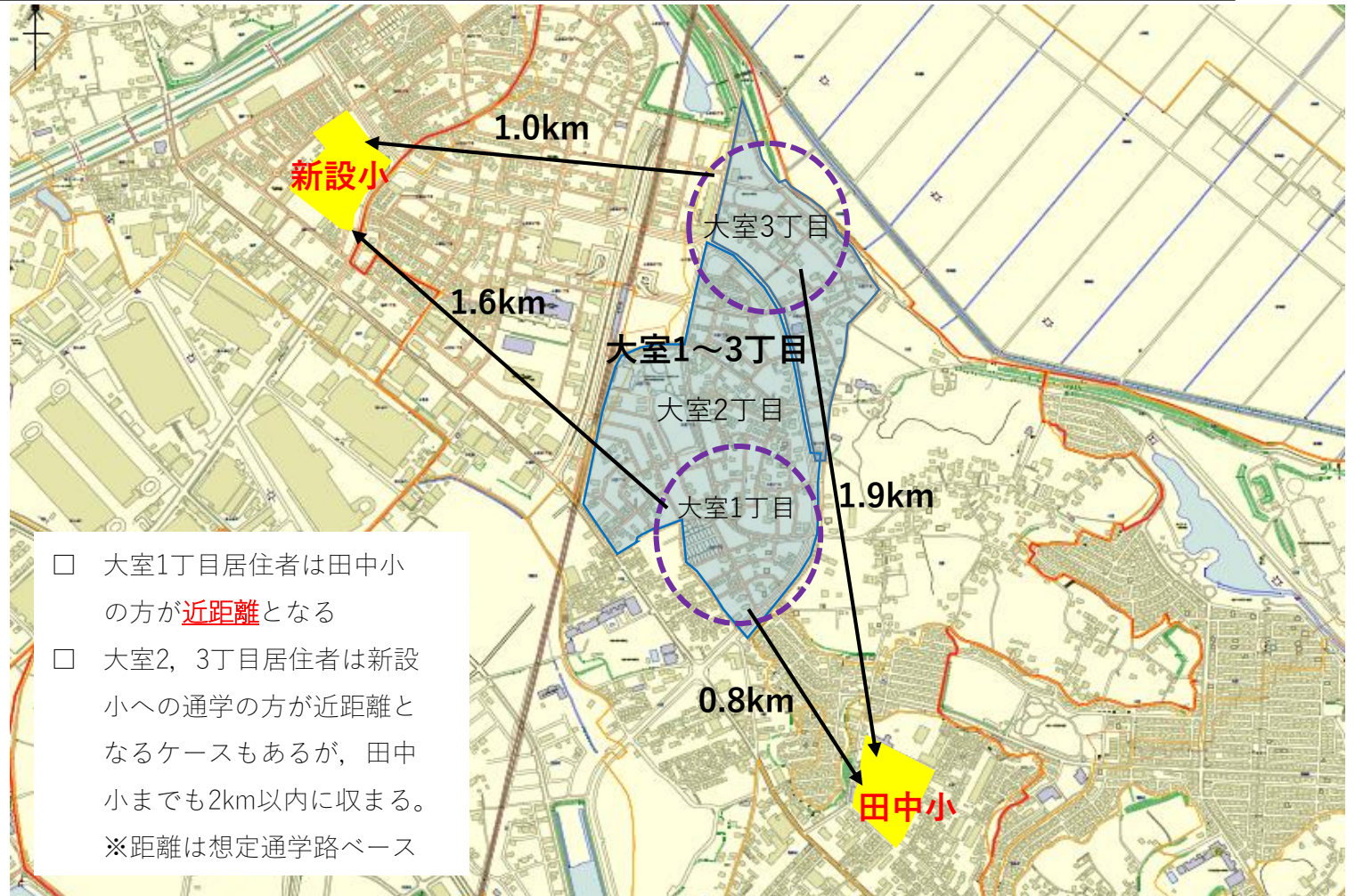


# 学区再編のポイント【2】

大室1～3丁目は田中小学区のまま（新設小の通学区域に含めない）

（理由）：

- ①大室1～3丁目を新設小学区とした場合、新設小は50学級を超える**超過大規模校**。  
児童の**良好な教育環境を確保する観点から適当でない**。
- ②大室地区全体が田中小学区のままとなるため、これまで通り**大室町会のコミュニティが維持**される。
- ③通学距離は居住地により異なるものの、最長でも2km以内に収まる。
- ④現在の指定校（田中小）のままとなるため、**児童の交友関係が維持・継続されやすい**。



# 大室1～3丁目は田中小学区のまま（新設小の通学区域に含めない）

## 高位の場合

### ① 新設小学区を現北小学区+小青田とし、大室は田中小学区とした場合

年度	2020	2021	2022	2023 (新設小開校)	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
<b>1 田中小（※建替後保有教室数39）</b>											
児童数計	881	972	1,081	759	834	868	918	974	957	948	1,001
学級数（特支含む）	30	33	37	27	30	30	31	33	33	32	34
<b>2 新設小（※保有予定教室数46）</b>											
児童数計	261	306	373	904	1,147	1,273	1,368	1,369	1,339	1,262	1,242
学級数（特支含む）	12	14	15	31	39	41	46	46	43	41	40

※新設小の2022年までの数値は田中北小の推計値

### ② 新設小学区を現北小学区+北部東地区全体とした場合

両校のバランスが悪い

長期的に教室不足

年度	2020	2021	2022	2023 (新設小開校)	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
<b>1 田中小（※建替後保有教室数39）</b>											
児童数計	881	972	1,081	570	566	542	538	536	529	545	604
学級数（特支含む）	30	33	37	20	19	19	19	19	19	20	21
<b>2 新設小（※保有予定教室数46）</b>											
児童数計	261	306	373	1,093	1,415	1,598	1,747	1,806	1,767	1,666	1,639
学級数（特支含む）	12	14	15	37	48	54	58	60	59	55	55

※新設小の2022年までの数値は田中北小の推計値



# 学区再編のポイント【3】

小青田は両校の学校適正規模の観点から新設小学校区へ変更

「小青田」を田中小のままとした場合の児童数推計

高位

年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
<b>1 田中小（※建替後保有教室数39）</b>											
児童数	881	972	1,081	1,228	1,437	1,537	1,638	1,699	1,666	1,616	1,659
学級数	30	33	37	40	49	53	55	56	55	54	55
<b>2 新設小（※保有予定教室数46）</b>											
児童数	261	306	373	435	544	604	648	644	630	594	584
学級数	12	14	15	18	20	24	24	24	24	21	21

低位

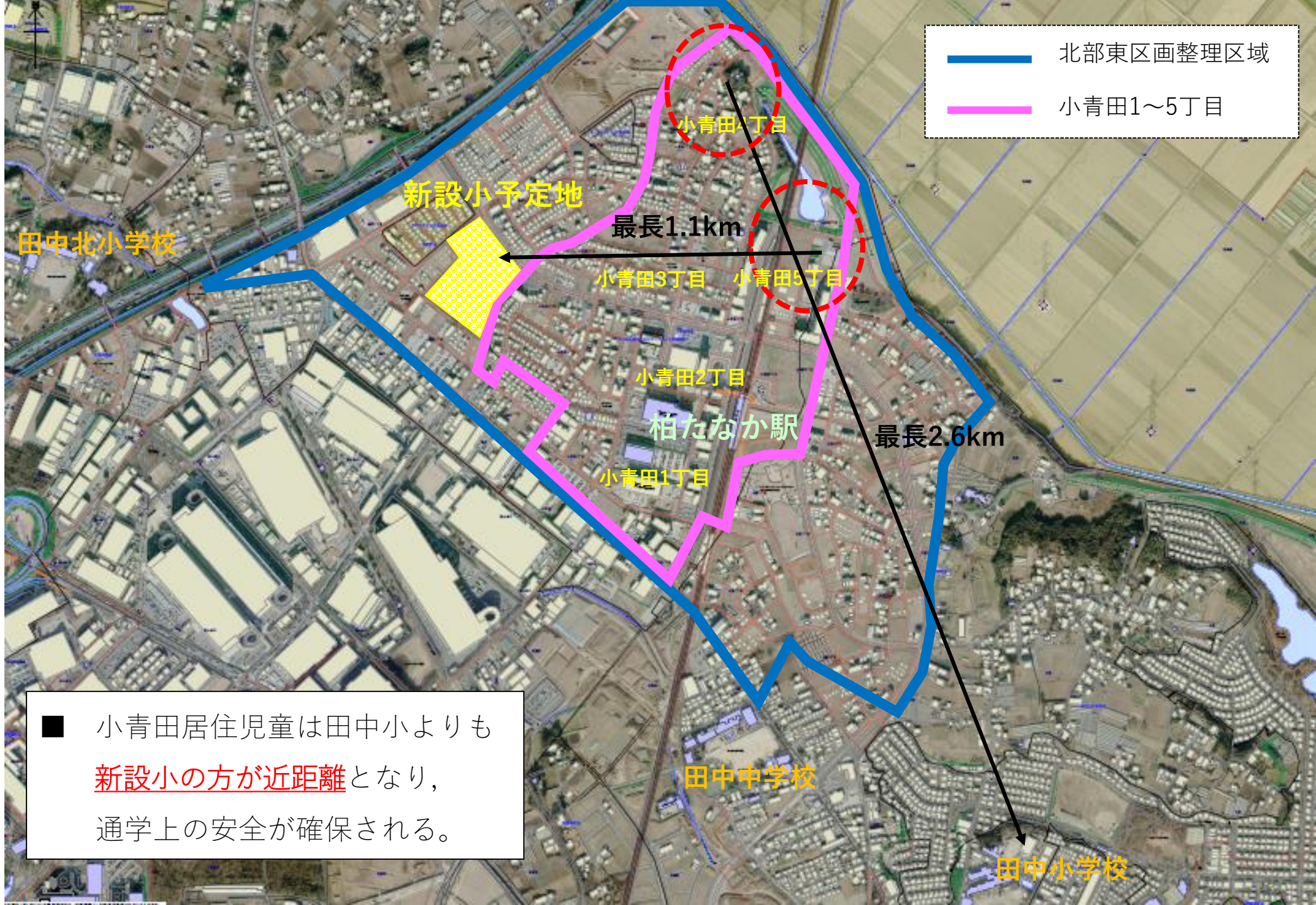
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
<b>1 田中小（※建替後保有教室数39）</b>											
児童数	881	958	1,046	1,172	1,331	1,368	1,396	1,351	1,270	1,249	1,260
学級数	30	33	36	38	42	44	46	44	42	41	42
<b>2 新設小（※保有予定教室数46）</b>											
児童数	261	306	373	437	537	583	576	566	535	524	509
学級数	12	14	15	18	20	23	23	22	20	20	19

長期的に教室不足

❖ 引き続き田中小への就学を希望する児童については、**学区外での受け入れを検討**します。

- 田中小学校が**超大規模校**となり、**長期的に教室不足**となります。
- 新設小学校は田中小学校の半分に満たない児童数で、両校の**バランスが悪くなります。**
- 小青田居住児童は田中小学校よりも**新設小学校の方が近距離**となります。





— 北部東区画整理区域  
— 小青田1～5丁目

■ 小青田居住児童は田中小よりも  
新設小の方が近距離となり、  
 通学上の安全が確保される。

【参考】 北部東土地地区画整理事業区域  
 航空写真（令和元年1月基準）



# 学区再編案まとめ

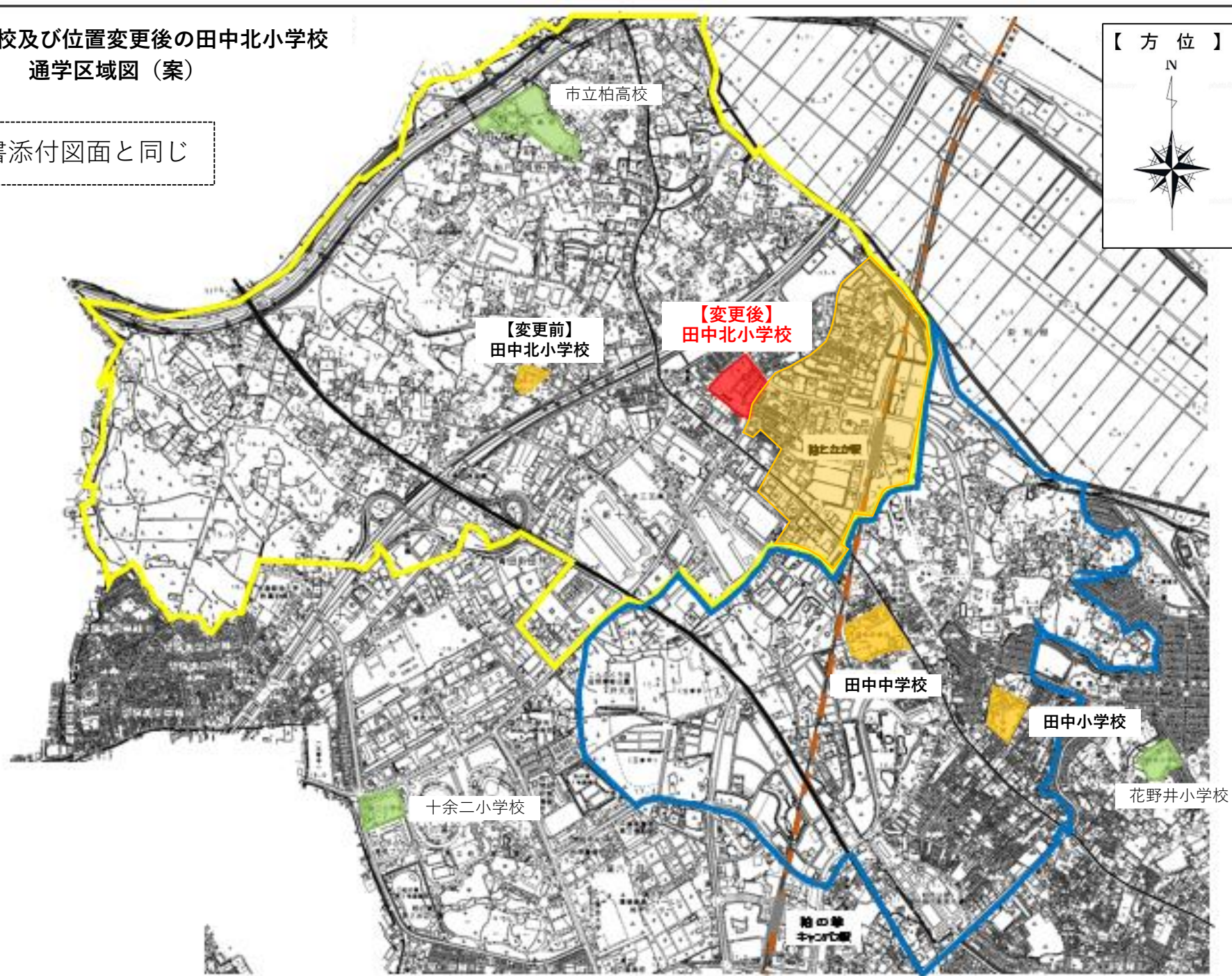
① 2校体制（田中小・新設小）とし、新設小は「田中北小からの移転」

② 大室1～3丁目は田中小学区のまま（新設小の通学区域に含めない）

③ 小青田の通学区域は、現在の田中小学校から新設小学校へ変更

田中小学校及び位置変更後の田中北小学校  
通学区域図（案）

諮問書添付図面と同じ





# 5 付随する課題への対応

## 課題①：通学距離延伸対策

- 田中北小を移転することで**通学距離が遠くなる児童**（大青田・船戸山高野在住児童）が発生する。
- 『学校の移転』という後発的要因により通学距離が遠くなること、当該エリアは国道・県道が通り市内でも交通量が多いという地域特性も考慮し、**通学路の安全対策**が求められている。

※ 大青田・船戸山高野在住児童は移転により通学距離が平均で**約2.1倍**に延伸

## 課題②：現在の田中北小学校の跡地利用

- 地域住民から移転後の田中北小跡地の有効活用要望あり

### ～ 田中北小学校概要 ～

- 昭和30年4月開校
- 校地面積 17,671㎡
- 主な施設（校舎、屋内運動場、給食室、プール設備）
- 児童数261人、学級数12学級（R2.5.1時点）

